

———— 2008/11/14 ————

「産業保健おいた」メルマガ版(HTML) 第 47 号
発行:大分産業保健推進センター 所長 三角 順一
<http://www.oita-sanpo.jp/>



Oita



I N D E X

- ★ 所長からのメッセージ
「必ずやってくる新型インフルエンザに備えよう」
- ★ TOPICS
 1. 「労働時間適正化キャンペーン」の実施について～ 労使がともに協力しあい、長時間労働を抑制しよう! ～
 2. 労働安全衛生法関係免許を申請される皆様へ
- ★ 今月の Key Word
【ツツガムシ病】
- ★ 労働衛生事例
 - ・一酸化炭素による中毒等
 - ・その他の化学物質による中毒等(γ-ピコリン)
- ★ 研修・セミナーのご案内(11月・12月)
- ★ 新着情報
平成 20 年度上半期ビデオ貸し出しランキング

●● 所長からのメッセージ ●●

必ずやってくる新型インフルエンザに備えよう

大分産業保健推進センター
所長 三角 順一

厚生労働省に設置されている新型インフルエンザ対策推進室の推計では、新型インフルエンザ発生時の患者数は、最大で2500万人、入院患者数は最大で200万人、死亡者数は、最大で64万人と推定されている。

大分県について、人口規模から推定すると、発生患者数は、25,000人、入院患者数は、20,000人、死亡者数は、6,400人となる。

しかるに、大分県内の医療機関の空きベッド数は、最大でも1,000床と考えられている。しかも、これは、感染者用の病床数ではなく、一般患者向けのベッド数である。このような異常事態の持続期間は、約8週間と考えられている。自宅療養の体制づくり等、自衛の対策も必要となるでしょう。

19世紀半ば以降、インフルエンザの世界的大流行(パンデミック)は、四度見られている。1918年のスペイン型インフルエンザ(H1N1)の大流行では、約4000万人の人が死亡したと言われている。1957年のアジア型(H2N2)インフルエンザの流行では、約200万人の人がなくなっている。

1968年の香港型インフルエンザ(H3N2)を最後に大流行は、見られていないが、これまでの大流行は、29年から42年に一回の割合で発生している。

恐らく、極、近い将来、パンデミックと言われるインフルエンザの大流行が発生することは、ほぼ間違いない。

私の予想では、今年から2011年(平成23年)が、最もリスクの高い期間と考えている。なぜ、こんな断言ができるのか、不思議に思われる方もいると思いますが、その理由は、2010年が、最後の流行から42年目に当たるからです。もっとも、今回の流行発生周期が長くないという保証はないが、備えあれば憂いなしである。

私たちの持っているインフルエンザの抗体価は、徐々に減少し、免疫力は低下している。このことは、インフルエンザウイルスに対する感受性の高い、すなわち、罹患し易い人々の割合が、増加していることを示している。

インフルエンザが、流行し始めたら、外出の際には、顔に密着するタイプのマスクを着けて下さい。外出などは、可能な限り避けて下さい。外出から帰宅したら、しっかり手洗いをし、塩水で良くうがいをすることです。38度以上の発熱が、ある場合には、直ちに、休暇を取りましょう。後で診断書を出せば、有給休暇扱いにしてくれるはずですよ。出勤すれば、職場中に感染を広めることになります。

事業主の皆様にとっては、早急にインフルエンザ発生時の内規を作成し、生産への影響を最低限に防がなければなりません。

12月から1月にかけて、大分県内の地域産業保健センターのご協力を得て、大分市内、別府、中津、日田、豊後大野、佐伯の5か所で新型インフルエンザについての講演会を当センターの主催で開催いたします。詳細は、当大分産業保健推進センターのホームページをご参照ください。また、新型インフルエンザに関する情報については、国立感染症研究所、あるいは、厚生労働省の新型インフルエンザ対策推進室のホームページをご覧ください。

<http://www.oita-sanpo.jp/2008influenza/influenza.htm>

新型インフルエンザ対策研修会のページ(大分産業保健推進センター)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>

新型インフルエンザ対策関連情報(厚生労働省)

●● TOPICS ●●

「労働時間適正化キャンペーン」の実施について

～ 労使がともに協力しあい、長時間労働を抑制しよう！ ～

厚生労働省では、依然としてみられる長時間労働や、これに伴う問題の解消を図るため、11月を「労働時間適正化キャンペーン」期間として、文書要請、周知啓発等の取組を集中的に実施します。(別添1参照)

1 労働時間等の現状をみると、以下のような状況にあります。(別添2参照)

- 週60時間以上働く労働者の割合が10.3%であるなど、長時間労働の実態がみられる。
- 「過労死」等事案で労災認定された件数が392件となるなど、過重労働による健康障害が多数発生している。
- 労働基準監督署による賃金不払残業の是正指導事案が多くみられる。

2 働くことにより労働者が健康を損なうようなこと及び労働基準法に違反する賃金不払残業はあってはならないものです。これらの問題の解消に向けては、使用者のみならず、労働者や労働組合、産業保健スタッフのすべての関係者の理解を得て、労使が一体となった取組が行われることが重要です。

3 このため、厚生労働省においては、本年は長時間労働の抑制を重点として、11月に「労働時間適正化キャンペーン」を実施し、長時間労働の抑制、賃金不払残業の解消等に向けて、使用者団体等に対する協力要請、リーフレット(別添3)の配布等による周知・啓発の実施などにより、労使等の主体的な取組を促すこととしています。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/10/h1024-4.htm> (厚生労働省)

労働安全衛生法関係免許を申請される皆様へ

平成20年12月1日から、免許の申請方法が変わります。また、同日以降に発行される免許証は、プラスチック・カードタイプとなります。

<http://www.haisin.mhlw.go.jp/mhlw/C/?c=132079> (厚生労働省)

●● 今月の Key Word 【ツツガムシ病】 ●●

ツツガムシ病(つつがむしびょう)は、ツツガムシリケッチア(orientia tsutsugamusi)の感染によって引き起こされる、人獣共通感染症のひとつであり、野ネズミなどに寄生するダニの一群であるツツガムシが媒介する。「新型」と「古典型」のふたつの型のツツガムシ病に分類される。日本紅斑熱と症状が酷似している。

第二次世界大戦の後には古典型はほとんど見られなくなり、かわってタテツツガムシ(L.scutellare)やフトゲツツガムシ(L.pallidum)というダニが媒介して発症するものが出現した。北海道を除く全国で発生が見られる。古典型とは異なり、秋～初冬に発生が見られる。2つの型で発生時期が違うのは、それぞれのダニの活動時期の違いによる。

予防ワクチンはないため、ダニに刺されないことが唯一の予防法である。以下に例を書く。

1. 汚染地域に発生時期に入らない。
2. 長袖・長ズボン・長靴・手袋を着用し、肌の露出を減らす。
3. 皮膚の露出部位には、ダニ忌避剤を外用する。
4. 脱いだ上着やタオルは、不要意に地面や草の上に置かない。
5. 草の上に座ったり、寝転んだりしない。
6. 帰宅後は入浴し、脱いだ衣類はすぐに洗濯する。

誤ったダニの駆除方法として、「アルコールや除光液を塗る」、「ライター、マッチの火を近づける」などの方法が言われているが効果はない。症状の原因となる唾液を傷口周辺に広げることとなる。

・・・以下略・・・

最終更新 2008年7月25日(金) 17:28

出典:フリー百科事典「ウィキペディア(wikipedia)より一部引用

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%84%E3%82%AC%E3%83%A0%E3%82%B7%E7%97%85>

●● 労働衛生事例 ●●

労働衛生事例(2例—平成19年—)

例1:一酸化炭素による中毒等

【有害要因】

一酸化炭素

【業種】

卸売業・小売業

【発生日】

11月

【被災者数】

中毒 2 名

【発生状況】

精肉・畜産加工室において、商品加工及び洗物作業で小型ガス湯沸器を使用していたが、湯沸器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生し、中毒となった。

【発生原因等】

- ・ 不適切な保護具の使用
- ・ 安全衛生教育不十分

例 2: その他の化学物質による中毒等

【有害要因】

γ-ピコリン

【業種】

その他の電気機械器具製造業

【発生月】

11 月

【被災者数】

中毒 6 名

【発生状況】

素材切削加工ラインにおいて、温水洗浄装置の洗浄水を交換していたところ、50℃近くに温めた洗浄水を、γ-ピコリンと記載されたドラム缶に入れたため、残留していた γ-ピコリンが気化し、扇風機の気流により他の伝送器組立ラインに拡散し、γ-ピコリンを吸入した伝送器組立ラインの作業者が中毒となった。

【発生原因等】

- ・ 作業標準の未徹底
- ・ 換気不十分
- ・ 安全衛生教育不十分

●● 研修・セミナーのご案内(11 月・12 月) ●●

※赤い字で表記されました日時・会場等は、変更になっています。ご注意ください。

■産業医研修

▽11 月 17 日(月)

時間: 18:30~20:30

会場: 大分県医師会館

「じん肺診断書の作成(実習)」 津田 徹(特別相談員)、大神 明(特別相談員)

★単位数 基礎研修:実地 2 生涯研修:実地 2

▽11 月 19 日(水)

時間: 18:30~20:

会場: 豊肥地域産業保健センター(豊後大野市医師会)

「安全(健康)配慮義務」~過重労働(法改正を中心に)、メンタルヘルス、
パワーハラスメントを中心に~ 田吹 好美(基幹相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:更新 2

▽11月25日(火)

時間:18:30~20:30

会場:大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大会議室

「職域における睡眠呼吸障害の問題点と対策」 津田 徹(特別相談員)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

産業医研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_doctor.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター 会議室

=====
▽11月14日(金)

「メンタルヘルス」～メンタルヘルス対策としてのパワハラ・セクハラ問題にどう対処するか～

三角 順一(大分産業保健推進センター所長)

▽11月26日(水)

「職場のメンタルヘルス」～予防と対策～ 南 裕二(特別相談員)

衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_eisei.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■カウンセリング研修

時間:18:30~20:30

=====
▼12月9日(火)

会場:大分産業保健推進センター 会議室

「積極的傾聴のグループワーク」 渡嘉敷 新典(基幹相談員)・佐用 槇子(特別相談員)

カウンセリング研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_cau.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■全職種研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター 会議室

▼12月3日(水)

「より良い人間関係のために」～交流分析の基礎Ⅰ～ 田吹 好美(基幹相談員)

▼12月19日(金)

「加齢と老化」～安全衛生管理のために～ 三角 順一(大分産業保健推進センター所長)

全職種対象研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20_all.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

●平成20年度 産業保健研修会トップページ

http://www.oita-sanpo.jp/H20_training/H20top.htm

●● 新着情報 ●●

平成20年度上半期ビデオ貸し出しランキング

1位

バーコード番号:2100653

ヒューマンファクターとは何か?～無意識の落とし穴、ウツカリ ボンヤリ 勘違い～(15分)

2位

バーコード番号:2100654

労働災害に潜むヒューマンエラー! ～油断大敵・あなたがドスン～(15分)

3位

バーコード番号:2100291

熱中症とその対策(30分)

4位～10位

バーコード番号:2100531

熱中症をあなたどるな 建設現場の夏/熱中症の危険と対策(15分)

バーコード番号:2100313

職長教育ビデオシリーズ⑤作業環境の安全化にむけて安全で快適な環境を作ろう(19分)

バーコード番号:2100655

墜落の波紋 ～油断が招いた大きな災難～【新版】(18分)

バーコード番号:2100656

職長のためのリスクアセスメント 危険ゼロを目指して(17分)

バーコード番号:2100009

管理者のための職場の法律常識 1巻 労働時間・年休・命令(35分)

バーコード番号:2100299

効果的な安全パトロールとは その考え方と計画、事後措置(24分)

バーコード番号:全般 2100359

変化に対応5S再挑戦②再構築編 5Sのあるべき姿と実践ポイント(22分)

図書・ビデオ等の貸し出しのお申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/index.cgi>

図書・ビデオ・機器貸出し トップページ

<http://www.oita-sanpo.jp/kasidasi/2008kasidasi.htm>

※ メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、info@oita-sanpo.jpまでお願いします。

皆様のご意見をお待ちいたしております。

今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

● ● ● ●
Oita Occupational Health Promotion Center

独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進センター

〒870-0046 大分県大分市荷揚町 3-1 第百・みらい信金ビル 7F

TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074

<http://www.oita-sanpo.jp> / E-mail: info@oita-sanpo.jp
● ● ● ●